

放課後等デイサービス自己評価集計結果 事業者向け

ぽけっと・とれいん・くれよん

総数 24 人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	39%	28%	33%		事業所の設備について、バリアフリー化されていないことから、移動や活動中は見守りを徹底し、安全に配慮し、工夫しながら支援を継続していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	44%	39%	17%		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6%	22%	72%		
	【環境・体制整備の平均】	30%	30%	40%		
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	28%	61%	11%		職員の参画している意識が低いことから、目指している目標を明確化し、情報提供に努め、共有していくことを各会議等で徹底していく。 自己評価、ガイドライン含め、ホームページ等での公開を行う。 外部評価は受けていないが、事業団本部事務指導や県監査等での指摘事項を受け、業務改善に努めている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%			
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会議やホームページ等で公開しているか	17%	28%	32%	22%	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善委につなげているか	22%	44%	11%	22%	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	78%	22%			
	【業務改善の平均】	46%	35%	10%	9%	
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	44%	39%	11%	6%	ガイドラインを活用した取り組みが定着するまでに時間を要するが、今後、ガイドラインに沿った支援を目指し取り組んでいく。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11%	72%	6%	11%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	72%	22%		6%	
	⑫ 活動プログラム固定化しないよう工夫しているか	72%	28%			
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	44%	39%	11%	6%	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	72%	22%		6%	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	66%	22%	6%	6%	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	94%		6%		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	78%	22%			
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	11%	6%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	17%	50%	6%	27%	
		【適切な支援の提供の平均】	59%	30%	5%	6%	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	33%	33%	17%	17%	保護者との連携は、日ごろから共通理解に努めている。しかし、関係機関等との連携が不十分であり、特に児童クラブや児童館など障害のない子どもたちと一緒に活動していく機会の方が提供できていないことから、今後、一緒に活動できる機会を模索していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	83%	17%			
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか	22%	44%	28%	6%	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	28%	28%	38%	6%	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	33%	55%	6%	6%	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	55%	22%	6%	
	㉖	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	11%	66%	6%	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	11%	11%	67%	11%	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	67%	33%			
		【関係機関や保護者との連携の平均】	36%	32%	25%	7%	
保護者への説明責任	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	22%	44%	28%	6%	保護者への説明責任は十分に果たしているが、ペアレント・トレーニング等の支援ができていないことから、職員研修を開催し、支援できるようにしていく。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	61%	33%		6%	
	㉛	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	39%	55%		6%	
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者回答を開催する等により、保護者同士の典型を支援しているか	33%	33%	23%	11%	

任 等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	17%		6%	
	③④	ていいき的に開放を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	6%		11%	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	94%			6%	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	61%	33%		6%	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44%	34%	11%	11%	
	【保護者への説明責任の平均】		57%	28%	7%	8%	
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	44%	39%	11%	6%	<p>防災避難訓練、虐待防止研修、インシデント・アクシデントの情報共有等はできている。</p> <p>また、身体拘束については、個々に十分な説明を行い、了解を得て対応している。</p>
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	94%			6%	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	78%	17%		6%	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	56%	33%		11%	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、石野指示書に裏づく対応がされているか	50%	33%	11%	6%	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%	23%	11%	6%	
	【非常時等の対応の平均】		63%	24%	6%	7%	